

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・V・全米株式インデックス・ファンド（愛称：SBI・V・全米株式）」は、2026年7月13日に第5期決算を行いました。

当ファンドは、SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第5期末（2026年7月13日）

基準価額	25,855円
純資産総額	442,459百万円
第5期	
騰落率	34.7%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI・V・全米株式 インデックス・ファンド （愛称：SBI・V・全米株式）

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第5期（決算日：2026年7月13日）

作成対象期間（2025年7月12日～2026年7月13日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、
レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2025年7月12日～2026年7月13日）



- (注1) ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP11をご参照ください。
 (注2) ベンチマークは、期首（2025年7月11日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
 (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。
 (注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・人工知能（AI）関連の投資拡大や好調な企業決算を背景としたハイテク株を中心とする米国株高
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）による2025年9月以降の利下げ（同年12月までに3会合連続で実施、政策金利は3.50～3.75%まで低下）
- ・良好な企業決算（2026年4～6月期は市場予想を大幅に上回る増収増益）
- ・対円で米ドルが大幅に上昇（円安が進行）したこと

下落要因

- ・米国雇用の伸び鈍化に伴う景気減速懸念（2025年8月の雇用者増加数は市場予想を大幅に下回り、失業率も上昇）
- ・中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇とインフレ再燃への警戒
- ・FRB議長交代（2026年5月、パウエル議長の任期満了に伴い新議長が就任）に伴う金融政策運営を巡る不透明感
- ・AI関連銘柄を中心とした株価バリュエーションの高まりに対する警戒感（2026年6月から7月にかけてハイテク株が調整）

1万口当たりの費用明細

（2025年7月12日～2026年7月13日）

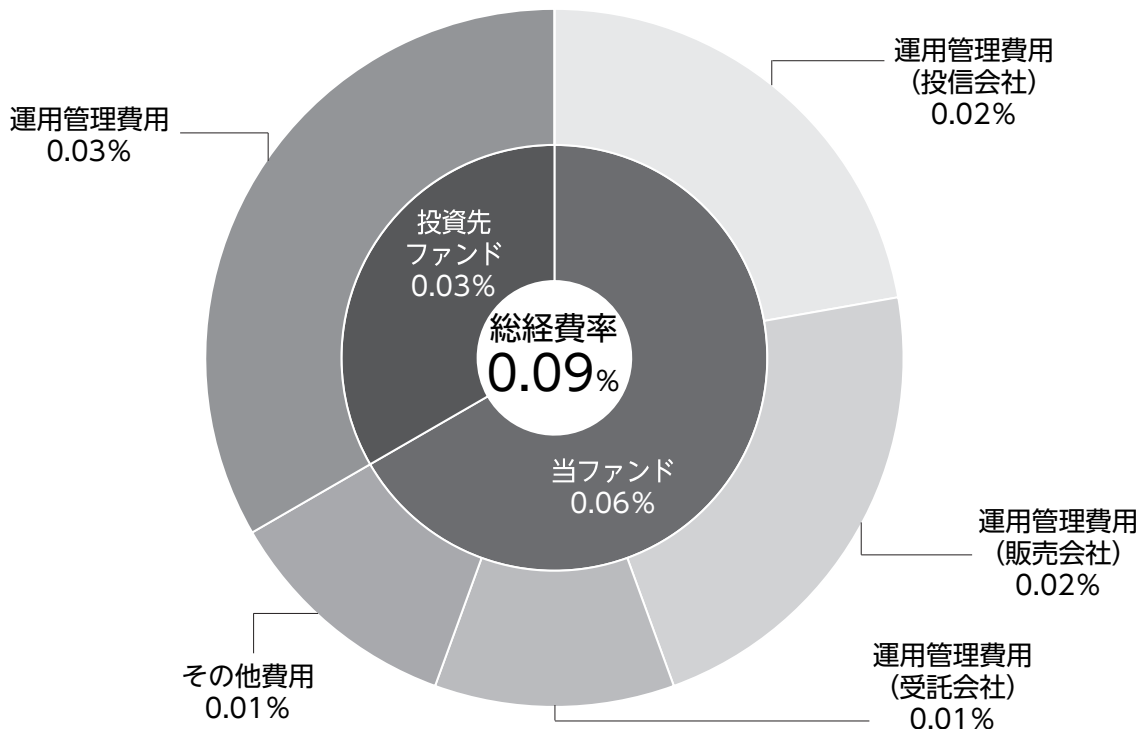
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.064	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.024)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(5)	(0.024)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.015	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.000)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	17	0.079	
期中の平均基準価額は、22,358円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.09%です。



総経費率 (①+②)	0.09%
①当ファンドの費用の比率	0.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年6月29日～2026年7月13日)



- (注1) ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP11をご参照ください。
 (注2) ベンチマークは、設定日（2021年6月29日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
 (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。
 (注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2021年6月29日 設定日	2022年7月11日 決算日	2023年7月11日 決算日	2024年7月11日 決算日	2025年7月11日 決算日	2026年7月13日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,887	12,865	18,674	19,196	25,855
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	8.9	18.2	45.2	2.8	34.7
ベンチマーク騰落率 (%)	—	9.4	18.6	45.8	3.0	35.2
純資産総額 (百万円)	8,102	87,662	168,436	291,842	323,996	442,459

- (注1) ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP11をご参照ください。
 (注2) ベンチマークは、設定日（2021年6月29日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
 (注3) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。
 (注4) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
 (注5) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年7月11日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2025年7月12日～2026年7月13日）

<米国株式市場>

2025年7月から8月にかけては、堅調な企業決算やAI関連需要の拡大期待を背景に、S&P500種指数は史上最高値を更新する場面が続きました。9月に入ると8月の雇用統計が市場予想を大幅に下回ったことから米国景気の減速懸念が強まり、株式市場は一時軟調に推移しました。労働市場の軟化を受けてFRBは9月、10月、12月の3会合連続で利下げを実施し、政策金利は3.50～3.75%まで引き下げられましたが、12月の会合では2026年の利下げ想定回数が縮小されたことから「タカ派的利下げ」と受け止められました。もっとも年末にかけては良好な経済指標やハイテク株の一段高を背景に、株式市場は最高値を更新し続けました。

2026年に入ると、FRBは1月、3月の会合で政策金利を据え置きました。5月半ばにはパウエル議長の任期満了に伴い新議長が就任し、金融政策運営を巡る不透明感がやや意識される場面もありました。4～6月期は、AI関連の設備投資拡大を背景にハイテクセクターが相場を牽引し、S&P500種指数は四半期として約6年ぶりの大幅高となりました。6月に入るとハイテク株は反落に転じ、中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の上昇からインフレ再燃への警戒感も強まりました。7月に入ってから、AI関連銘柄のバリュエーションに対する警戒感を背景に株式市場は一進一退の展開となり、S&P500種指数は2014年以来11年ぶりに月間ベースで下落する場面もみられましたが、市場予想を大幅に上回る好調な4～6月期決算が下支えとなりました。

<外国為替市場>

当期、米ドル円相場は期を通じて、円安水準となりました。2025年7月期初、147円近辺でスタートしましたが、その後も日米の金利差を意識したドル買い・円売りが継続し、緩やかな円安基調で推移しました。同年10月には日本で新たな首相が就任し、積極財政路線への期待から長期金利が上昇する一方、日銀の利上げペースが緩やかになるとの見方も強まり、円売り材料となりました。12月の日銀会合では政策金利が0.75%（当時として30年ぶりの水準）まで引き上げられましたが、円安基調に大きな変化はみられませんでした。

2026年に入ると、中東情勢の緊迫化を背景に原油価格が上昇し、資源に乏しい日本経済への影響が意識されたことに加え、根強い日米金利差を背景に、円は一段と下落基調を強めました。4月から5月にかけては、ドル円が節目とされる160円に接近・突破する場面もあり、日本の通貨当局は大規模な為替介入を実施しましたが、円安圧力の払拭には至りませんでした。6月には米国の新FRB議長によるタカ派的な発言も意識される中、ドル円は再び160円台に到達し、7月に入ってから円安基調が継続しました。期末（2026年7月13日）にかけては、ドル円は160円台で推移し、約40年ぶりの円安水準となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年7月12日～2026年7月13日）

<当ファンド>

ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

＜SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド＞

ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、バンガードが運用を行う「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.4%となっております。

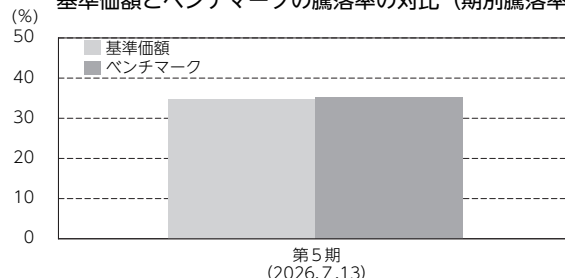
当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年7月12日～2026年7月13日）

期中における分配金も考慮した基準価額は+34.7%となり、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+35.2%を概ね0.5%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などがあげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークはCRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細はP11をご参照ください。

分配金

（2025年7月12日～2026年7月13日）

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第5期
	2025年7月12日～ 2026年7月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,854

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド>

引き続き、「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

2026年7月27日付けで、ベンチマークと組入ETFの名称が以下の通り変更となります。

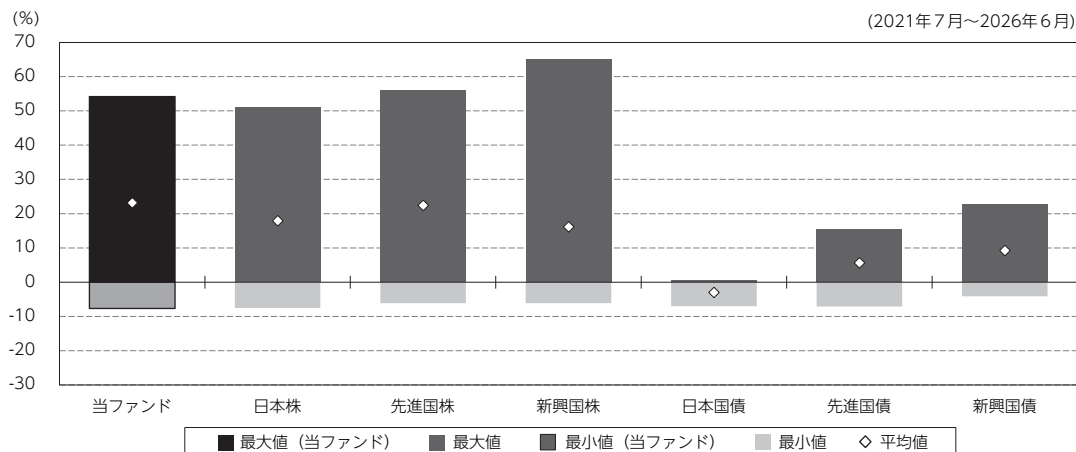
- ・ベンチマークの名称：Morningstar US トータル・マーケット TR USD（配当込み、円換算ベース）
- ・組入ETFの名称：バンガード・モーニングスター・トータル・ストック・マーケット ETF

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信 託 期 間	無期限（設定日：2021年6月29日）	
運 用 方 針	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
分 配 方 針	年1回（毎年7月11日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	54.2	51.0	55.9	65.1	0.6	15.4	22.7
最小値	△ 7.7	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	23.2	17.9	22.4	16.2	△ 3.0	5.6	9.2

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年7月から2026年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、設定日以降のデータが5年に満たないため、2022年6月末から2026年6月末のデータを基に算出しています。なお、当ファンドに係る2022年5月までの年間騰落率についてはベンチマークを用いて算出しています。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年7月13日現在）

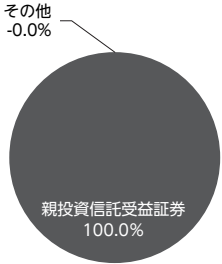
○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド	% 100.0
組入銘柄数	1銘柄

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

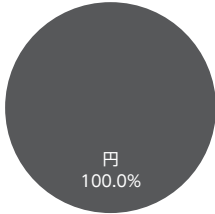
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

（注3）国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第5期末
	2026年7月13日
純資産総額	442,459,526,994円
受益権総口数	171,131,920,842口
1万口当たり基準価額	25,855円

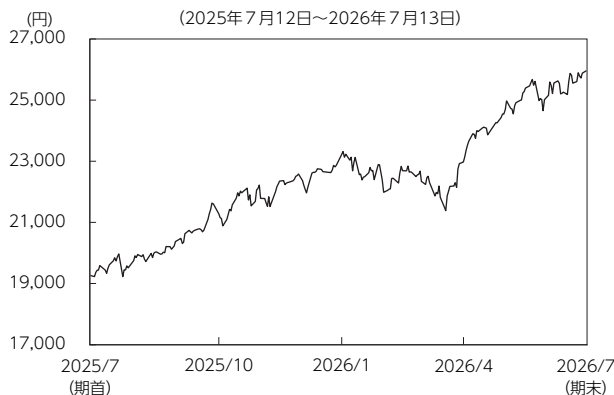
（注）期中における追加設定元本額は19,603,962,498円、同解約元本額は17,254,671,172円です。

組入上位ファンドの概要

SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年7月12日～2026年7月13日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年7月12日～2026年7月13日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	3円 (3)	0.015% (0.015)
合計	3	0.015
平均基準価額は、22,445円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2026年7月13日現在)

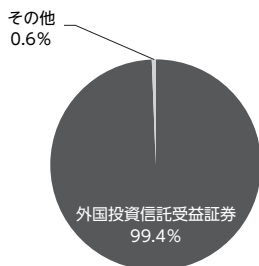
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	Vanguard Total Stock Market ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.4%
組入銘柄数			1銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

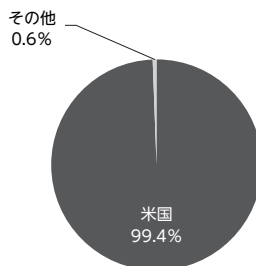
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

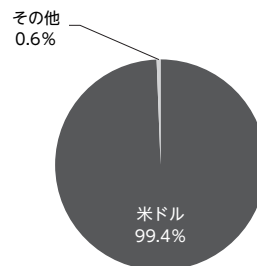
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年7月13日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しています。

<当ファンドのベンチマークについて>

ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。

OCRSP US トータル・マーケット・インデックス

CRSP US トータル・マーケット・インデックスは、米国株式市場の大型株から小型株までを対象とし、投資可能銘柄のほぼ100%をカバーした時価総額加重平均型の株価指数です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。